



私は、今年の春休みより図書館のアルバイトを始めました。現在は同学年のアルバイトと一緒に働いております。では、ここで私が担当している業務を説明致します。私が担当しているのは、まだ蔵書検索できちんと表示されていない本が国立情報学研究所で作成、蓄積した本の標準データの中に、その書名、著者、出版地、出版者などが同一であるものを検索して見つけ出し、それを図書館のデータに落とし込み、図書館の蔵書として登録する業務で、これは「遡及」と呼ばれています。業務自体は図書館の事務室で行っています。

この業務ではデータを検索し、落とし込む業務だけでなく、本を登録する前にまず、本についてゴミやホコリを取り除き、裏側に資料IDを表示するバーコードが貼付されていないものはバーコードを印刷して貼付けなければなりません。また遡及が終わった本を指定された配架場所へ配架もするので業務自体は少しばかり重労働も伴います。しかし遡及の業務は利用者がより多くの本の情報を検索し、入手してもら



田儀 勇樹

ためには欠かせない作業です。

遡及のアルバイトの業務を通して学んだのは当然の話ではありますが、図書館の本は一冊一冊がデータの面でも、また保管の面でも厳重に管理されているということです。遡及の業務では遡及する本を検索する際、タイトル、著者、出版地・出版者が特に重要なデータとなりますが、これらが卒業論文を書くときに非常に役に立ってきます。例えば卒業論文では参考文献として最後に自分が参考にした文献を書かなければなりません。その際に書く内容がタイトル・著者・出版年・出版地・出版者のことで、遡及の仕事をしていることもあり以前より容易にこれらの情報を見つけて出すことができるようになりました。

図書館のアルバイトと言えば殆どが閲覧室での業務だと思われがちですが、閲覧室での業務だけではなく、事務室でも様々な業務が行われています。私が担当する業務は図書館の蔵書に直接関わる業務ですが、その業務の経験が自分の卒業論文や普段の利用にも大きく貢献しています。図書館でのアルバイトでの経験や知識を自分の将来の職場でも役立てていこうと思います。

たぎ ゆうき (英米語学科 4年次生)

